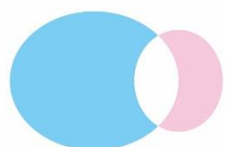


令和3年度 事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)



学校法人森島学園

I. 法人の概要

1 設置する学校

- (1) 専門学校浜松医療学院
 - ・鍼灸学科
 - ・柔道整復学科
 - ・アスレティックトレーナー学科
- (2) 専門学校富士リハビリテーション大学校
 - ・理学療法学科
 - ・作業療法学科

2 所在地

- (1) 法人本部 静岡県浜松市浜北区貴布祢 232 番地の 3
- (2) 専門学校浜松医療学院 静岡県浜松市浜北区貴布祢 232 番地の 3
- (3) 専門学校富士リハビリテーション大学校 静岡県富士市伝法 2527 番地の 1

3 学校法人の沿革

平成 13 年 3 月	学校法人 森島学園創立 専門学校浜松医療学院設置認可
平成 13 年 4 月	初代理事長 田村慎一氏就任 専門学校浜松医療学院開校 (鍼灸学科・柔道整復学科) 初代学院長 住山正男氏就任
平成 15 年 4 月	初代理事長 田村慎一氏退任 第 2 代理事長 森島宏光氏就任 専門学校浜松医療学院 2 号館完成
平成 16 年 4 月	専門学校浜松医療学院にアスレティックトレーナー学科設置
平成 17 年 4 月	富士リハビリテーション専門学校開校 (理学療法学科・作業療法学科) 初代学校長 竹之下政興氏就任
平成 19 年 3 月	専門学校浜松医療学院初代学院長 住山正男氏退任
平成 19 年 4 月	専門学校浜松医療学院第 2 代学院長 臼井義雄氏就任 専門学校浜松医療学院名誉学院長に 住山正男氏就任 富士リハビリテーション専門学校初代校長 竹之下政興氏退任 富士リハビリテーション専門学校第 2 代校長 菊池和也氏就任
平成 22 年 11 月	学園創立 10 周年記念式典挙行 専門学校浜松医療学院創立 10 周年記念式典挙行
平成 26 年 11 月	富士リハビリテーション専門学校 10 周年記念式典挙行
平成 29 年 3 月	第 2 代理事長 森島宏光氏退任 森島学園学園長に就任 富士リハビリテーション専門学校第 2 代校長 菊池和也氏退任

平成 29 年 4 月 第3代理事長 森島康之氏就任
 富士リハビリテーション専門学校第3代校長 内田成男氏就任

平成 30 年 3 月 森島宏光氏 森島学園学園長退任

平成 30 年 4 月 森島宏光氏 森島学園グループ会長に就任

令和 2 年 3 月 専門学校浜松医療学院学院長 白井義雄氏退任

令和 2 年 4 月 専門学校浜松医療学院学院長 遠藤 進氏就任

令和 2 年 4 月 富士リハビリテーション専門学校3年制の校名及び修行年限変更
 校名を専門学校富士リハビリテーション大学校4年制に変更

令和 2 年 10 月 学園創立20周年記念式典挙行
 専門学校浜松医療学院20周年記念式典挙行

令和 3 年 4 月 専門学校浜松医療学院にスポーツメディケーション学科設置

2 設置する学校、学科等

令和2年5月1日

学校名	開校年月	学科等	学科開設年月
専門学校 浜松医療学院	平成13年4月	鍼灸学科	平成13年4月
		柔道整復学科	平成13年4月
		アスレティックトレーナー学科	平成16年4月
		スポーツメディケーション学科	令和3年4月
専門学校 富士リハビリテーション大学校	平成17年4月	理学療法学科	平成17年4月
		作業療法学科	平成17年4月

3 各校学生数

令和2年5月1日

学校名	学科	入学定員	総定員	1年	2年	3年	4年	現員数
専門学校 浜松医療学院	鍼灸学科	60	180	35	22	26		83
	柔道整復学科	60	180	60	42	30		132
	アスレティックトレーナー学科	30	60	8	1			9
	スポーツメディケーション学科	30	60	-	-			-
専門学校 富士リハビリテーション大学校	理学療法学科 (3年制)	60	120		2	51		53
	作業療法学科 (3年制)	40	80		4	33		37
	理学療法学科 (4年制)	40	160	44	38	-	-	82
	作業療法学科 (4年制)	40	160	38	28	-	-	66

※専門学校富士リハビリテーション大学校の学科について、令和3年3月31日在籍の学生は3年制、令和3年4月1日入学の学生から4年制となるため、在籍学生数を2行で記載しております。

※専門学校浜松医療学院のスポーツメディケーション学科は、募集休止のため、学生はおりません。

4 役員概要

理事 10名 (定数 10名)

監事 2名 (定数 2名)

令和3年6月1日現在

区分	氏名	常勤・非常勤	摘要
理事長	森島康之	常勤	平成13年4月理事就任 平成13年4月専務理事就任 平成29年4月理事長就任
理事	遠藤進	常勤	令和2年4月専門学校浜松医療学院学院長就任 令和2年4月理事就任
理事	内田成男	常勤	平成21年5月理事就任 平成28年4月富士リハビリテーション専門学校学校長就任
理事	森島宏光	非常勤	平成15年4月理事就任 平成15年4月理事長就任 (平成29年3月迄)
理事	菊池和也	非常勤	平成20年4月富士リハビリテーション専門学校学校長就任 (平成28年3月迄) 平成20年4月理事就任
理事	名古政昭	非常勤	平成27年5月理事就任
理事	小池保守	非常勤	令和1年5月理事就任
理事	生熊建次	非常勤	令和1年5月理事就任
理事	大石篤郎	非常勤	令和1年5月理事就任
理事	久米行子	非常勤	令和3年5月理事就任
監事	高林光宏	非常勤	平成27年5月監事就任
監事	村松泰成	非常勤	令和1年5月監事就任

5 評議員の概要

評議員 21 名 (定数 21 名)

令和 3 年 6 月 1 日現在

区 分	氏 名	区 分	氏 名
評 議 員	森 島 康 之	評 議 員	宮 下 正 好
評 議 員	遠 藤 進	評 議 員	大 石 哲 平
評 議 員	内 田 成 男	評 議 員	杉 山 徳 充
評 議 員	森 島 宏 光	評 議 員	松 本 実 生
評 議 員	菊 池 和 也	評 議 員	山 本 牧 乃
評 議 員	名 古 政 昭	評 議 員	村 松 貴 通
評 議 員	小 池 保 守	評 議 員	坂 田 江 利 子
評 議 員	生 熊 建 次	評 議 員	竹 内 潤
評 議 員	大 石 篤 郎	評 議 員	小 西 亮 輔
評 議 員	久 米 行 子	評 議 員	藤 本 多 恵 子
評 議 員	鈴 木 康 仁		

6 教職員の概要

令和 3 年 5 月 1 日現在

		森島学園本部	専門学校浜松医療学院	専門学校 富士リハビリテーション大学校
教 員	本務		16	18
	兼務		28	39
職 員	本務	4	10	6
	兼務	1	6	1

7 事業の概要

令和 3 年度は、前年度と同様新型コロナウイルス感染症に向き合いながらの教育活動となりましたが、在校生に対する教育には従来通り、しっかり行いました。しかしながら、専門学校浜松医療学院ではスポーツメディケーション学科を設置し、令和 3 年 4 月 1 日より授業を開講する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により準備が整わず募集を休止としたため、在校生は 0 名となってしまいました。

財務面では、学生募集状況も良好であり、経費削減も継続して実施してきた結果、大幅な改善が見られ、決算状況は良好に推移。専門学校浜松医療学院の第 1 号館の外壁の塗り替えを実施、法人本部の事務所の改修工事を図る等、設備に関する大型工事を実施いたしました。

学園は、今後も時代とともに変化する社会の要請に応えるべく、常に教育内容の充実を図り、地域社会に貢献できる人材の育成に努力をし、森島学園として「質の保証」・「実線的な職業人の育成」に全力を傾けてとともに、経営基盤の強化にも努め、学生が安心して通える学園にしていきます。

(1) 令和3年度理事会・評議員会

① 臨時理事会・評議員会（令和3年4月30日）

第1号議案 長期借入金の資金調達並びに借換について

② 第1回理事会・評議員会（令和3年5月25日）

第1号議案 令和2年度 事業報告について

第2号議案 令和2年度 決算報告及び監査報告について

第3号議案 令和3年度 第一次補正予算（案）について

第4号議案 学校法人森島学園 寄附行為の改訂（案）について

第5号議案 学校法人森島学園 規程の新設（案）について

・学校法人森島学園 役員等の報酬支給及び費用に関する規程

・学校法人森島学園 慶弔見舞金等規程

第6号議案 学校法人森島学園 規程の改訂（案）について

第7号議案 理事・評議員役員改選（案）について

③ 第2回理事会・評議員会（令和3年8月4日）

第1号議案 専門学校浜松医療学院 校舎の各室の用途変更について

第2号議案 令和3年度 第二次補正予算（案）について

第3号議案 専門学校富士リハビリテーション大学校 臨床実習施設の一部変更について

第4号議案 専門学校富士リハビリテーション大学校 教育職員及び事務職員の職名・職務に関する規程（案）について

第5号議案 学校法人森島学園 規程の改訂（案）について

第6号議案 専門学校浜松医療学院 スポーツメディケーション学科の令和4年度募集停止について

④ 第3回理事会・評議員会（令和3年12月6日）

第1号議案 専門学校浜松医療学院 スポーツ系学科の改編について

第2号議案 専門学校富士リハビリテーション大学校 教職員の職名（称号付与）に関する規定（案）について

第3号議案 学校法人森島学園 規程の改訂（案）について

附随議案：給与別記（2）昇給及び降給の基準について

第4号議案 学校法人森島学園 就業時間中の研修参加の取扱について

第5号議案 令和3年度 第三次補正予算（案）について

⑤ 第4回理事会・評議員会（令和4年3月23日）

第1号議案 令和3年年度 第四次補正予算（案）について

第2号議案 令和4年度 当初予算（案）について

8 各校の主な事業の目的・計画及び進捗状況

●専門学校浜松医療学院

1. 教育活動

□ 学生在籍数推移 令和3年4月1日：224名 ⇒ 令和4年3月31日：211名

学科	1年生		2年生		3年生	
鍼灸学科 退学率：8.4%	R3. 4. 1	35名	R3. 4. 1	22名	R3. 4. 1	26名
	R4. 3. 31	30名	R4. 3. 31	21名	R4. 3. 31	25名
柔道整復学科 退学率：4.5%	R3. 4. 1	60名	R3. 4. 1	42名	R3. 4. 1	30名
	R4. 3. 31	56名	R4. 3. 31	40名	R4. 3. 31	30名
AT学科 退学率：11%	R3. 4. 1	8名	R3. 4. 1	休止（休学1名）	—	—
	R4. 3. 31	8名	R4. 3. 31	0名	—	—
令和3年度 退学率：5.8%						

□ 国家試験および就職状況

第30回 はり師きゆう師国家試験

国家試験	卒業者	受験者	受験停止	受験辞退	合格者	合格率	全国
はり	25名	22名	3名	0名	20名	90.9%	74.2%
きゆう		22名			20名	90.9%	76.1%

第30回 柔道整復師国家試験

国家試験	卒業者	受験者	受験停止	受験辞退	合格者	合格率	全国
柔整	30名	25名	5名	0名	18名	72.0%	62.9%

令和3年度 公認アスレティックトレーナー認定試験 ※1：受験は既卒者のみ ※2：二次試験結果は発表待ち

一次試験	卒業者	受験者	合格者	合格率	二次試験	合格者	合格率
理論	一名	7名	2名	28.6%	実技	—	—%

□ 就職状況

◆求人（進学者/在籍者/聴講希望者を除く学生数に対する求人倍率）

・求人事業所件数（延数）：298事業所 ・求人数（延数）：3454人 ・求人倍率：7.6倍

◆就職率（就職対象者に対する就職率：令和4年3月31日時点）

・鍼灸学科：82.3% ・柔道整復学科：86.3% ・AT学科：卒業生者なしのため就職者0名

2. 学生募集活動・広報活動

□ 高校内ガイダンス（静岡県西部、愛知県東部）：46回 / 年

□ 会場ガイダンス（静岡県西部、愛知県東部）：27会場 / 年

□ 高校訪問（学生募集エリア・ターゲット校 進路課を中心に）：各校5～7回 / 年

□ オープンキャンパス参加者数 ・年間参加者数（延数）：314名 ※1 回あたりの参加者平均：20.9名

□ 選抜区分別入学者数

A0 総合型選抜：28名 指定校推薦型：46名 高校推薦型選抜：11名 高校一般選抜：5名

社会人選抜（在校生特待生選抜含む）：8名 AT一般選抜：18名

●専門学校富士リハビリテーション大学校

I. 令和3年度 総括

1) 学籍および教育活動について

在籍 239 名 / 260 名 (91.9 %) 2021 年 4 月 1 日現在

	1 年生	2 年生	3 年生	合計	在籍率
理学療法学科	44	40	51	135/140	96.4 %
作業療法学科	39	32	33	104/120	86.7 %
	83	72	84	239/260	91.9 %

留年者 作業 1 年生 : 1 名

在籍 230 名 / 260 名 (88.5 %) 2022 年 3 月 31 日現在

	1 年生	2 年生	3 年生	合計	在籍率
理学療法学科	41	38	51	130/140	92.9 %
作業療法学科	36	31	33	100/120	83.3 %
	76	68	84	230/260	88.5 %

<退学者> 理学 1 年生 : 3 名、2 年生 : 2 名、 作業 1 年生 : 3 名、2 年生 : 1 名

<休学者> 理学 1 年生 : 1 名 作業 なし

在籍 230 名 / 240 名 (95.8%) 2022 年 4 月 1 日現在 (予定)

	1 年生	2 年生	3 年生	合計	在籍率
理学療法学科	45 (休 1)	41	37 (旧 2)	124/120	103.3 %
作業療法学科	40	35	31 (旧 4)	106/120	88.3 %
	85 (休 1)	76	68	230/240	95.8 %

留年者 理学 2 年生 : 1 名、作業 1 年生 : 1 名、 休学者 理学 1 年生 : 1 名

令和3年度は新学則適用(4年制カリキュラム)の2年目として、新たな段階に向け継続的に教育課程を推進することができた。また、両学科合計6名の旧カリキュラム適用者の教育課程についても、教科担当や時間割設定が複雑化する中、教務部の努力により滞りなく終了することができた。令和3年度の新入生は82名(理学44名、作業38名)であり、少子化が加速度的に進む中、年度当初の在籍者数は全体で90%以上を確保することができた。

新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う「緊急事態宣言発出」・「まん延防止等重点措置」への対応は、概ね令和2年度と同様であり、学園祭などの学内行事は中止または延期とし、外部委員等が参加する会議はZoomを活用したオンライン形式とした。一方、臨床実習に受入施設の急な変更等が多くみられ、代替施設への依頼や学内演習などの対応で苦慮したが、両学科の適切な対応により所定の教育課程を修了することができた。

①学籍関係：新入生は82名(定員80名)、年度当初の在籍者数は239名(定員260名)・在籍率91.9%であり、年度末の在籍者数は230名(定員260名)・在籍率88.5%であった。新入生が定員に達し、退学者が少人数であったことが在籍者数の改善に繋がったものと考えられる。

②教育概要：今年度は休校措置等の特別な対応はなく、基本的には登校・対面授業を行ったが、必要に応じICTを活用し分散・遠隔授業を行った。また、実習授業は密集・密閉を避け、手指消毒や環境清拭などの基本的な感染対策を徹底した。なお、臨床実習においては代替施設の調整、学生の配置変更、宿泊施設の変更等、公文書の発行など、教務部・事務部が協力的に取り組み適切に対応できた。

学生には「健康管理チェックシート」の提出を義務付け、家族を含め感染の可能性（濃厚接触等）が疑われる場合には迅速に報告するように指導するとともに、自治体や保健所の判断および検査結果を確認し、必要に応じて「公認欠席」の措置をとった。

③FD活動・学術研修活動：教育力向上及び専門分野における学術活動については、ほとんどの研修会・学会がオンラインにて行われたが、原則として学校に出勤して参加することとした。学生による授業評価及びその結果の公開、学生FD委員会、教員研修会を実施した。浜松・富士教育懇談会は授業参観のみ実施できた。尚、教員の臨床研修は「緊急事態宣言」発出時には中止とし、国家試験前の2022年1～2月の2ヶ月間は臨床研修を休止として、学校勤務とした。

2) 学則および4年制移行・学校名変更について

新カリキュラム（4年制教育課程）の変更承認がなされ、令和3年度は2年目となる。昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、実技授業及び臨床実習では多くの対応や調整が必要となった。また、旧カリキュラム適用者には、別のプログラムで時間割を設定するなど大変苦慮したが、両学科長を中心に滞りなく教育課程を実施することができた。尚、学校名変更及び修業年限については、高校生や保護者、高校教諭などの理解は大きく向上したものと考えられる。

3) 学生の課外活動および健康管理等について

① 学生相談室：こころの相談室（臨床心理士 鈴木先生）

学生利用：4件、教員利用：10件、相談室だよりの発刊、教員研修：1回

② 学生の健康管理

1) 学生健康調査：調査票をガイダンス時に配布し、回収・集計。調査票は学籍簿に保管

2) 新型コロナウイルス感染拡大への予防対策

- ・ 学生健康管理係を設定し、健康チェックシートの記載・回収、教室等の換気を徹底
- ・ マスク着用、手洗い・うがいの励行（手指消毒）、3密回避、行動制限などの感染対策を実施。特に、臨床実習の2週間前から実習中の行動には保護者への協力も含め注意喚起した。
- ・ 学生には「健康管理チェックシート」の提出を義務付け、家族を含め感染の可能性（濃厚接触等）が疑われる場合には迅速に報告するように指導するとともに、自治体や保健所の判断および検査結果を確認し、必要に応じて「公認欠席」の措置をとった。

3) 予防接種：

新型コロナワクチン接種：富士市・医療従事者枠、集団接種

	7/6-7/27	7/7-7/28	7/13-8/3	7/14-8/4	学生の接種率
1回目/2回目	60名	60名	72名	40名	97～100%

会場：湖山リハビリテーション病院（バス貸切）、

事務手続き：富士市との折衝、保護者への連絡、ワクチン接種者名簿作成、接種会場への移動手段確保、副反応への対応、他

インフルエンザ予防接種：学校医・鈴木内科医院、例年通り両学科・全学年で実施

4) 麻疹・風疹・水痘・ムンプス・B型肝炎：各自かかりつけ医にて実施。

5) 「熱中症予防月間（2021/5/31～9/24）」、「感染症予防強化月間（2022/1/17～2/18）」

③ 学友会行事・サークル活動・地域貢献活動・その他

新入生セミナー（交流会）：学内にて分散開催、学園祭（ふじゆめ祭）：中止

サークル活動：サッカー部、野球部 専門学校県大会に出場

地域貢献：富士市健康まつり、キウイマラソン、その他施設のイベントは中止

4) 学生募集・広報活動について

高校訪問、進学ガイダンスなど学生募集のための広報活動は宮崎主任（広報担当）を中心に積極的に実施。OCは感染対策を徹底し、来校型を原則として実施、多大な成果を得ることができた。また、指定校説明会は昨年同様に最多の参加を得る事ができ、「出張授業」が増加傾向にあることから、高校との関係性が強化されてきたと考える。出願状況より入学者選抜では A0 総合型及び指定校推薦への依存度が高く、作業療法学科では第2志望での合格者がやや増加傾向にある。

5) キャリア支援および保護者会等について

キャリア支援「就職説明会」（年2回）：夏・秋共に施設毎の個別説明を含め全てオンラインにて開催した（オンライン開催の利点多数）。参加施設数は例年とほぼ同数、市村学生担当課長を中心に円滑に運営することができた。保護者会（年2回）：オンライン開催とし、在校生、卒業生、保護者代表の講演は事前収録とした。保護者からは肯定的な意見が多く寄せられた。

6) 人事について（敬称略）

- ・ 教員長期研修（2022/1/5～3/5）：理学療法学科・白井英彬、作業療法学科：古屋亜由美
- ・ 教育職員の称号付与：森島学園 理事会にて承認

7) 各種認定（公的機関の認定事項）

- ・ 世界作業療法士連盟（WFOT） 認定校
- ・ 一般社団法人 日本リハビリテーション教育評価機構 認定校（両学科：2回目）
- ・ 文部科学大臣認定 職業実践専門課程 認定（両学科）
- ・ 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 資格取得認定校

8) 新型コロナウイルス感染拡大防止の対策等（理事長通達、関係省庁・県当局からの通知遵守）

①休校（休業）措置なし、適宜ICTを活用した遠隔授業、全校集会、他

②学生（保護者含む）に対する指導等：感染防止マニュアルによる指導、健康管理チェックシート提出、登校時の検温、飲食時の注意喚起、発熱等の症状について報告・連絡・相談の徹底、実習授業に関わる工夫、各種連絡文書の発送、その他

③学内環境の整備：教室等の換気の徹底、消毒用エタノール・ペーパータオル・非接触型体温計の設置、実習機材（治療用ベッド、治療台など）の消毒、エアコンのウイルス除去装置、その他

④臨床実習の対応：行動制限（実習開始前～実習中）、受入施設の調整、PCR検査等の実施支援、その他

II. 令和3年度 年間行事 (オープンキャンパスの実績・各種予防接種は除く)

月	日	行事名
令和3年 (2022 年) 4月	1日	午前=新2・3年生:ガイダンス・全校集会、 午後=新入生:ガイダンス <u>縮小開催</u>
	2日	第17回入学式及び後援会総会 <u>分散開催(講堂・一般教室)</u>
	12日	障害者スポーツ指導員認定証 授与式
	16日	新入生セミナー・交流会 学内にて分散開催
	21日	第1回学校関係者評価委員会、臨床実習システム 説明会 (PT:21日、OT:23日、学生:30日)
	22日	学生健診①
5月	9日	第1回 保護者会 (オンライン) :参加者64名
	10日	臨床実習Ⅲ (前期) 両学科開始
	20日	学生健診②
	25日	森島学園 令和2年度 第1回理事会・評議員会
6月	16日	指定校説明会:20校(22名)参加
	18日	人体解剖学 見学実習:浜松医科大学(2年生)
	23日	第1回教育課程編成委員会 (PT学科)
	30日	教職員会議 (学内オンライン) :学校関係者評価および今年度方針の確認など
7月	2日	臨床実習Ⅲ (前期):PT学科終了、 9日:臨床実習Ⅲ (前期):OT学科終了
	14日	第1回就職説明会 (オンライン) 施設数:全体:37(県内:16)、個別:50(県内:22)
	20日	全校集会:優秀賞の表彰式 (学内オンライン)
	21日	前期授業最終日、大掃除
	27日	前期末定期試験 (7月26日-7月30日) 授業進度による分散の実施科目あり
8月	4日	森島学園 令和2年度 第2回理事会・評議員会 臨床実習Ⅲ (後期):PT学科開始、 10日:OT学科開始 (ワクチン接種により期日変更)
	25日	第1回 教育課程編成委員会 (OT学科)
	30日	後期授業開始 (1・2年生) ※臨床実習Ⅱ (PT学科):中止→令和4年1月に延期
9月	1日	防災訓練
	12日	入試A日程、AO出願審査 (A日程:出願0人、AO出願審査:新規集団課題、判定会議:14日)
10月	1日	臨床実習Ⅲ (後期) 終了:PT学科、 8日:OT学科 (一部学内実習にて対応)
	2日	臨床実習指導者研修会 (10/2-3、本校会場、参加者:49/50、講師5名)
	12日	第2回就職説明会 (オンライン) 施設数:全体:30(県内:14)、個別:44(県内:21)

	20日	第2回教育課程編成委員会 (PT 学科)
	24日	入試B日程 (入試B日程・A0出願 判定会議:26日)
11月	7日	第2回保護者会第(オンライン) :参加者約57名
	10日	第2回学校評価関係者委員会
	24日	浜松・富士 合同教育懇談会 (授業参観のみ)
12月	2日	後期末定期試験 :3年生 (12/2-3)
	5日	入試C日程 (判定会議:7日、スカラシップチャレンジの判定含む)
	6日	森島学園 令和2年度 第3回理事会・評議員会
	13日	臨床実習I (両学科:1年生) 12/13-17
	15日	卒業判定会議 (卒業発表:16日)
	18日	第1回プレ・スクーリング・開講式 (内田・宮下・市村紋・三田)
	23日	教員研修会 (鈴木先生:臨床心理士)
令和4年 (2022 年) 1月	4日	年始業務開始、(後期末定期試験:分散の実施 R3.12月~R4.1月)
	5日	理事長 年頭ご挨拶、3年生:開校延長1/6-2/17、休日開校1/15-2/13
	9日	入試D日程 (判定会議:11日)
	11日	臨床実習II開始 (PT学科2年生) 1/11-21・・・R3.8月予定を延期実施
	17日	臨床実習II開始 (旧カリ PT:1/17-2/8、OT:1/17-2/17)
	19日	ICT勉強会 (①1/19、②2/16、③3/16)
	22日	第2回プレ・スクーリング (宮下・三田・内田)
	26日	第2回教育課程編成委員会 (OT学科) オンライン 学外委員3名
2月	3日	全校集会、消費者教育出前講座 (1年生2/3、2年生:3/2、3年生:2/21)
	6日	入試E日程 (判定会議:7日)
	19日	第3回プレ・スクーリング (オンライン:宮下・三田)
	17日	1年生:進級判定会議 (進級発表:2月18日)
	20日	第57回理学療法士・作業療法士国家試験
	24日	臨床実習指導者会議 (オンライン 午前:PT学科、午後:OT学科)
3月	2日	全校集会・学生表彰 (卒業生の皆勤賞・他)、入試F日程=中止
	9日	第15回卒業証書授与式 (富士市・ロゼシアター) 縮小開催
	18日	後援会・役員会
	19日	第4回プレ・スクーリング・開講式 (内田・宮下・市村紋・三田)
	23日	森島学園 令和2年度 第4回理事会・評議員会 第57回理学療法士・作業療法士国家試験 合格発表
	31日	ガイダンス (午前:在校生、午後:新入生)、全校集会、理事長挨拶:新入生に向けて

9 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況と経年比較

科目	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
固定資産	877,616,158	816,749,130	805,798,689	776,590,568	735,291,688
流動資産	172,709,529	235,058,829	134,837,054	132,513,014	315,977,347
資産の部合計	1,050,325,687	1,051,807,959	940,635,743	909,103,582	1,051,269,035
固定負債	196,992,000	256,100,000	200,018,000	144,710,000	257,848,000
流動負債	383,631,100	456,517,900	367,414,620	373,344,208	334,411,348
負債の合計	580,623,100	712,617,900	567,432,620	518,054,208	592,259,348
基本金	1,207,866,993	1,218,833,934	1,228,656,523	1,240,670,365	1,206,000,372
繰越収支差額	▲738,164,406	▲879,643,875	▲855,453,400	▲849,620,911	▲746,990,685
純資産の部合計	469,702,587	339,190,059	373,203,123	391,049,374	459,009,687
負債及び純資産の部合計	1,050,325,687	1,051,807,959	940,635,743	909,103,582	1,051,269,035

② 資金収支計算書の状況と経年比較

収入の部	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
学生生徒等納付金収入	658,360,367	609,872,007	604,446,178	534,186,618	583,016,500
手数料収入	7,697,000	8,434,800	7,046,400	7,037,000	7,603,500
寄付金収入	0	0	0	4,000,000	6,000,000
補助金収入	15,505,204	14,810,106	14,908,637	31,684,456	36,762,613
資産売却収入	0	0	0	0	7,410,100
事業収入	26,521,835	31,423,238	18,821,742	19,665,884	21,185,493
受取利息収入	2,357	2,224	2,337	1,997	2,823
雑収入	1,787,240	1,732,481	4,857,220	1,310,662	2,704,105
借入金等収入	487,300,000	303,892,000	160,308,000	145,308,000	331,296,000
前受金収入	256,002,000	269,946,000	249,955,000	283,491,200	301,149,400
その他の収入	6,179,940	9,842,514	8,033,885	6,495,657	22,743,954
資金収入調整勘定	▲303,497,414	▲260,707,485	▲272,048,770	▲259,854,459	▲294,704,786
前年度繰越支払資金	81,465,320	147,939,011	206,744,470	114,577,226	108,212,718
収入の部合計	1,237,323,849	1,137,206,896	1,003,075,099	905,806,703	1,133,382,420

支出の部	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
人件費支出	510,431,676	567,002,712	417,384,930	378,351,041	365,778,425
教育研究経費支出	105,511,488	97,343,955	94,677,196	95,921,353	117,866,284
管理経費支出	57,410,673	48,756,870	70,921,973	73,215,693	74,976,663
借入金等利息支出	7,180,946	6,592,158	6,918,601	4,971,858	4,387,316

借入金等返済支出	374,562,000	236,192,000	271,974,000	205,616,000	265,474,000
施設関係支出	16,414,297	2,005,840	0	3,157,000	20,800,000
設備関係支出	7,006,934	7,861,101	8,312,589	8,526,842	6,161,365
資産運用支出	7,646,120	7,646,120	7,646,120	6,559,320	▲33,345,500
その他の支出	9,548,304	13,835,374	49,940,407	39,286,974	22,971,139
資金支出調整勘定	▲6,327,600	▲56,773,704	▲39,277,943	▲18,012,096	▲10,371,939
翌年度繰越支払資金	147,939,011	206,744,470	114,577,226	108,212,718	298,684,667
支出の部合計	1,237,323,849	1,137,206,896	1,003,075,099	905,806,703	1,133,382,420

③活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

科目	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	693,933,023	666,272,632	650,080,177	596,121,198	645,127,825
教育活動資金支出計	673,353,837	713,103,537	582,984,099	547,488,087	557,763,456
差引	20,579,186	▲46,830,905	67,096,078	48,633,111	87,364,369
調整勘定等	▲46,305,878	58,348,059	▲20,360,196	4,337,833	8,537,125
教育活動資金収支差額	▲25,726,692	11,517,154	46,735,882	52,970,944	95,901,494
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	0	20,000	0	600,000	0
施設整備等活動資金支出計	23,421,231	9,866,941	8,312,589	11,683,842	26,961,365
差引	▲23,421,231	▲9,846,941	▲8,312,589	▲11,083,842	▲26,961,365
調整勘定等	0	0	0	0	0
施設整備等活動資金収支差額	▲23,421,231	▲9,846,941	▲8,312,589	▲11,083,842	▲26,961,365
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	▲49,147,923	1,670,213	38,423,293	41,887,102	68,940,129
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	505,010,680	307,565,524	163,118,737	168,893,571	362,861,004
その他の活動資金支出入計	389,389,066	250,430,278	293,709,274	217,147,178	241,329,184
差引	115,621,614	57,135,246	▲130,590,537	▲48,251,610	121,531,820
調整勘定等	0	0	0	0	0

その他の活動資金 収支差額	115,621,614	57,135,246	▲130,590,537	▲48,251,610	121,531,820
支払資金の増減額 (小計+その他の活 動資金収支差額)	66,473,691	58,805,459	▲92,167,244	▲6,364,508	190,471,949
前年度繰越支払資金	81,465,320	147,939,011	206,744,470	114,577,226	108,212,718
翌年度繰越支払資金	147,939,011	206,744,470	114,577,226	108,212,718	298,684,667

④事業活動収支計算書の状況と経年比較

科目	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
事業活動収入の部					
学生生徒等納付金	658,360,367	609,872,007	604,446,178	534,186,618	583,016,500
手数料	7,697,000	8,434,800	7,046,400	7,037,000	7,603,500
寄付金	0	0	0	4,000,000	6,000,000
補助金	15,505,204	14,810,106	14,908,637	31,684,456	36,762,613
事業収入	10,583,212	31,423,238	18,821,742	17,902,462	21,185,493
雑収入	1,787,240	1,732,481	4,857,220	1,310,662	2,704,105
教育活動収入計	693,933,023	666,272,632	650,080,177	596,121,198	657,272,211
事業活動支出の部					
人件費	510,431,676	567,002,712	417,384,930	378,351,041	365,778,425
教育委研究経費	129,970,368	120,998,536	118,332,789	120,134,027	143,293,229
管理経費	58,075,916	50,611,172	73,433,130	76,202,852	76,014,173
徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	698,477,960	738,612,420	609,150,849	574,687,920	585,085,827
教育活動収支差額	▲4,544,937	▲72,339,788	40,929,328	21,433,278	72,186,384
事業活動外収入の部					
受取利息・配当金	2,357	2,224	2,337	1,997	2,823
その他の事業活動外収入	15,938,623	0	0	0	0
教育活動外収入計	15,940,980	2,224	2,337	1,997	2,823
事業活動外支出の部					
借入金等利息	7,180,946	6,592,158	6,918,601	4,971,858	4,387,316
その他の事業活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	7,180,946	6,592,158	6,918,601	4,971,858	4,387,316
教育活動外収支差額	8,760,034	▲6,589,934	▲6,916,264	▲4,969,861	▲4,384,493
経常収支差額	4,215,097	▲78,929,722	34,013,064	16,463,417	67,801,891
資産売却差額	0	19,999	0	2,637,892	7,410,100
その他の特別収入	0	0	0	0	989,868

特別収入計	0	19,999	0	2,637,892	8,399,968
特別支出の部					
資産処分差額	0	51,602,805	0	1,255,058	7,383,630
その他の特別支出	0	0	0	0	857,916
特別支出計	0	51,602,805	0	1,255,058	8,241,546
特別収支差額	0	▲51,582,806	0	1,382,834	158,422
基本金組入前当年度収支差額	4,215,097	▲130,512,528	34,013,064	17,846,251	670,960,313
基本金組入額	▲17,092,231	▲10,966,941	▲9,822,589	▲12,013,842	▲3,534,619
当年度収支差額	▲12,877,134	▲141,479,469	24,190,475	5,832,409	64,425,694
前年度繰越収支差額	▲725,287,272	▲738,164,406	▲879,643,875	▲855,453,400	▲849,620,991
基本金取崩額	0	0	0	0	38,204,612
翌年度繰越収支差額	▲738,164,406	▲879,643,875	▲855,453,400	▲849,620,991	▲746,990,685

(参考)

事業活動収入計	709,874,003	666,294,855	650,082,514	598,761,087	665,675,002
事業活動支出計	705,658,906	796,807,393	616,069,450	580,914,836	597,714,689

(2) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応策

経営状況については、経営改善傾向にあり、別添定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分（法人全体）に当てはめると、運用資産の部分については、令和3年度の修学支援金の補助金がまだ未入金であるが、運用資産に加味すると経営状態は正常状態と言える。

事業活動収支、資金収支、活動区分収支は改善傾向にあるが、まだ経営にかかる課題はあり、下記のとおりである。

- ・翌年度繰越収支差額が△746百万円の解消。
- ・安定した経営を行うために、現預金残高は4～5億円まで持っていくこと。
- ・退職給与引当金を積立していないこと。

今後の方針として、基本金積立額は毎年あるものの、翌年度繰越収支差額の繰越損失分を毎年圧縮していくこと、退職給与引当金を積立していくことを行っていく。令和4年度については、専門学校富士リハビリテーション大学校が4年制完成年度まであと1年あるため、翌年度繰越収支差額の30百万円圧縮を目標に行っていく方針。令和5年度以降は退職給与引当金積立をしていく方針であります。